

テーマ4

山間地域における高精度土砂災害情報の把握（農政課）

1. 解決したい課題の内容

- ・近年、異常気象による降雨量の増加が頻発化し、それに伴う土砂災害のリスクが大幅に高まっている。このため、高齢者など避難に時間を要する人々の安全確保のほか、仮に土砂災害が発生した場合には大規模化し、多大な復旧費用が課題となっている。
- ・現在、気象庁から提供されている「土砂災害警戒情報」は広域的な範囲に焦点を当てており、そのため、地域ごとの地理的特性やリスクを反映した詳細な情報が取得できていない。
- ・住民や行政が個々の地域特性に合わせたリスク情報をリアルタイムに入手できる状況を構築することにより、災害リスクの高いエリアにおいて、事前に危険性を把握し、計画的に適切な対策を講じることにより、災害発生後の社会機能の損失及び復旧費用の最小化が可能となると想定している。

2. 実現したい目標について

土砂災害予測に必要となる、ピンポイントの降雨量や土壌水分量、山林法面の傾斜計など、災害発生に関連する具体的なデータをリアルタイムで正確に把握することにより、適切な避難誘導や計画保全、災害後の復旧期間・費用の最小化を図る。

3. 必要とする技術について

以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・土壌水分量や山林法面傾斜計による測定及び分析する技術
- ・地形の変化をモニタリングする技術
- ・各種データ解析から災害の発生を予測し、可視化する技術

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

※実証内容は以下を想定するが、これにこだわらない。

- ・山林や地盤等を対象に、各種センサーによる計測を行い、降雨や地震等による外的変化を把握し、災害リスクを可視化することにより、避難や保全管理の必要性を判断する。
- ・希望時期は降雨シーズン前のタイミングで、実証箇所は、地域の地理的特徴を考慮した上で設定することにより、リアルタイム情報の精度を評価する。

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・袋井市「袋井市農業振興ビジョン」

<https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/15/1/nogyoshinko/1422535801051.html>